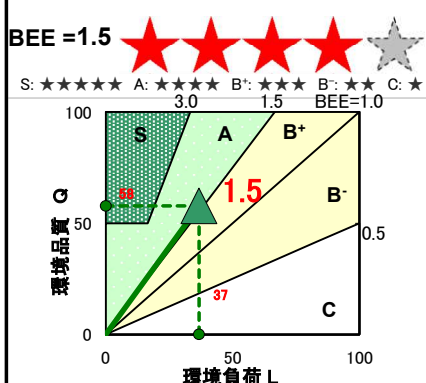
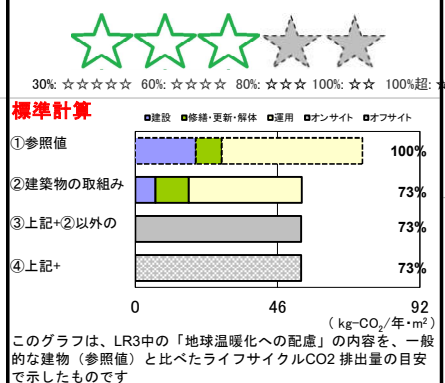


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市中央四丁目計画	階数	地上7F
建設地	神奈川県海老名市中央四丁目1370番1、1373番1	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年10月14日
敷地面積	1,850 m ²	作成者	株式会社 設計集団宙組 一級建築士事務所
建築面積	791 m ²	確認日	2025年10月14日
延床面積	4,021 m ²	確認者	株式会社 設計集団宙組 一級建築士事務所

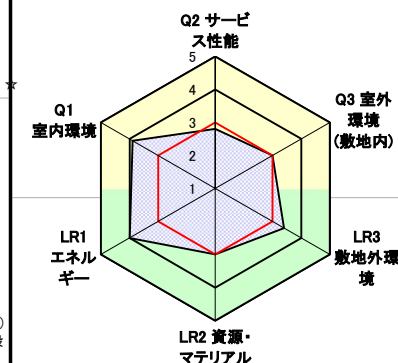
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

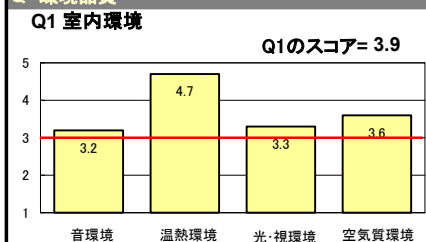


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

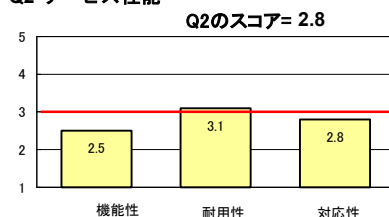


2-4 中項目の評価(バーチャート)

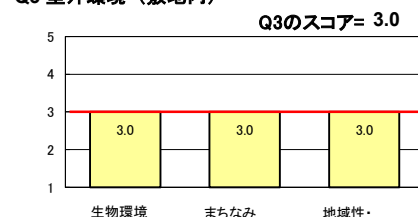
Q 環境品質



Q2 サービス性能

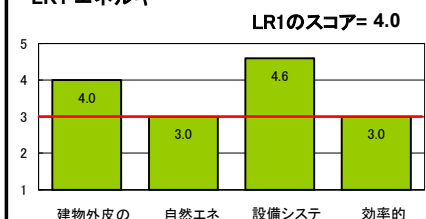


Q3 室外環境（敷地内）



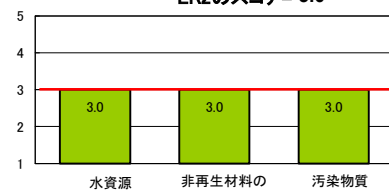
LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー



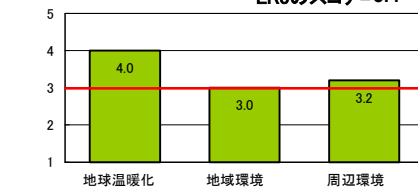
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0



LR3 數地外環境

LR3のスコア=3.4



3 設計上の配慮事項

総合 建物周辺を積極的に緑化し環境に配慮している。		その他 0
Q1 室内環境 住宅部分について、断熱等性能等級5相当としている。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮した設計としている。	Q3 室外環境（敷地内） 特になし
LR1 エネルギー 断熱等性能等級5相当、BEI=0.73としている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地を採用し、躯体と仕上材が容易に分別可能としている。	LR3 敷地外環境 LCCO2排出率73%とし、光害抑制にも配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。